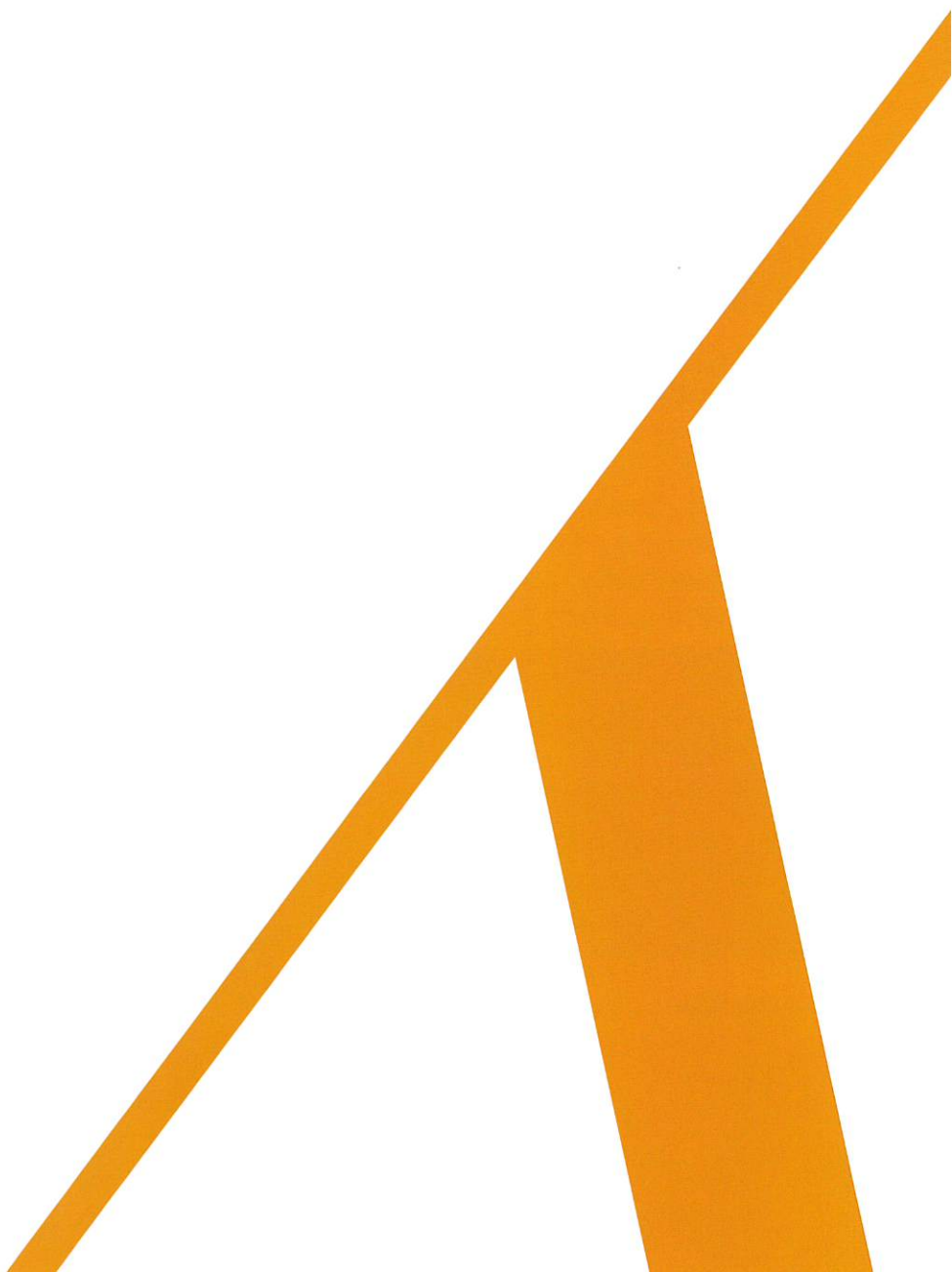




チャレンジの機会をつくり
希望と誇りを持てる社会を実現する





希望と誇りを持てる社会をめざして

これからの社会はより多くの課題が生まれると予測されています。

若者が、未来に対する希望、自分自身や地域に対する誇りを持てるように。

私たちはより良い社会をつくろうとチャレンジしている

大人との出会い・共にチャレンジする機会をつくっていきます。



NPO 法人 JAE 代表理事

坂野 充

「チャレンジ」を後押しする存在であり続けるために、我々自身がチャレンジをし続ける存在として、次の15年を邁進します。

2001年2名の小学生を対象に、起業家教育教室「チャレンジスクール」を事業として創業。以来、アントレプレナーシップ=「自ら問題の解決や新たな価値の創造に挑戦する心」を持つ人材を輩出することを理念に活動してきました。

この15年間で「社会」と「教育」を取り巻く環境は激変しました。「キャリア教育」として職場体験やインターンシップは学校現場にも浸透し、地域社会や企業と接点を持ちながら、将来社会に出た時に必要な力を育てていくプログラムも広がってきました。また、国の方針も大きく転換し、教育現場が社会に開かれ、地域と共に次世代育成をしていく方向性が明確に打ち出されています。一方で、これからの社会は一層厳しさを増していくことが想定されます。少子化による日本全体の人口減少の加速、高齢化が進むことによる医療福祉の負担増、企業の海外移転による国内産業の空洞化、ロボット・人工知能によって多くの仕事が取って代わる、など多くの課題と共に生きる時代がものすごいスピードでやってきています。そのような時代を迎え、私たち大人がすべきことは何なのか、議論を重ねてきました。

「子ども・若者と大人が共にチャレンジをする」

厳しさを増す社会環境の中、大人自らが今の社会環境をより良くしていくためにチャレンジをすることが必要です。子どもたちも、当事者としてそのチャレンジの現場に携わることで、社会ではどんなことが求められるのか?何を学んでいけばいいのか?を体験する機会となります。私たちは、学校、行政、地域住民、企業など様々な関係者と協働し「大人のチャレンジ」を通して、次世代が育つ地域づくりに取り組んでいきます。

ばんの みちる

1979年愛知県東海市生まれ。大学在学中に、社会と教育のギャップを埋める活動に関心を持ち、2004年NPO法人JAEに参画。インターンシップ事業のマネージャーを経て、2010年事務局長に就任。2013年より代表理事に就任。

MISSION

子ども・若者と大人が共に チャレンジする機会をつくる

2001年の創業以来、10,000人を超える子ども・若者にチャレンジする機会を提供してきました。「キャリア教育」という言葉も学校現場に浸透し始め、早期の段階から社会に触れさせ「将来」を考える機会を提供しようという動きが広がってきました。未来を見据えたときに何をすべきか議論していく中、大きく変化していく社会で、チャレンジする若者が育まれる教育の基盤づくりに、さらに真摯に向き合っていきたいと考えようになりました。

子ども・若者と大人のチャレンジを生みだし 育ち合える地域をつくるために

1 モデル構築

これまで、関西圏で課題意識のある学校や意欲的な企業と連携して、様々な場所でプログラムを実施してきました。一方、自治体からの期待に応える形で一つの地域に継続的に関わりプログラム実施やサポートをすると、高い相乗効果が発揮される事例も生まれてきました。今後は特定の地域ごとに対象を絞り、地域の持つ課題を踏まえたプログラムづくりや学校現場・地域に関係性づくりを進めていきます。それらをモデルとして、今後より多くの地域の変革を支えていきたいと考えています。

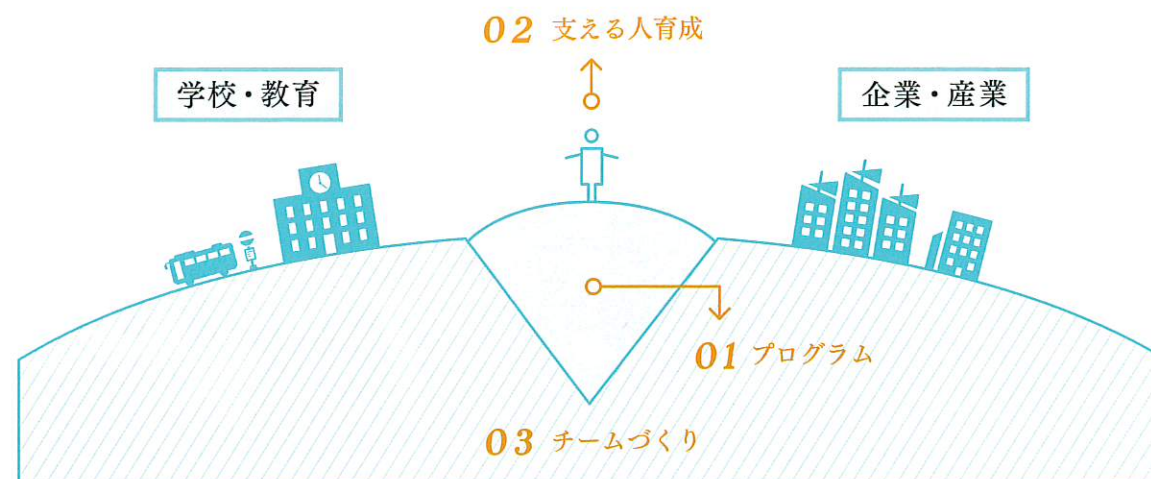
2 つながりを育くむ人づくり

より多くのチャレンジが生まれるためには信頼関係のあるつながりが重要です。学校、企業、地域がつながりなおし、チャレンジの基盤を構築していきます。そのために、認定資格※を取得したコーディネーターたちが地域に入り、つながりづくりとプログラム設計を行います。そのコーディネーターの学びを深める場、実践を積む場も同時に創っていきます。※キャリア教育コーディネーター

ACTION

「学校・教育 × 企業・産業 = 育ち合える地域づくりへ」

地域の持つ様々な課題を「学校 × 企業」で変革し、地域の大切な担い手である子ども・若者と企業をプログラムでつないでいきます。そのためのコーディネーターの育成や、チームづくりなどを通して、様々な人と協働していきます。



01



プログラム

ドリカムスクールとアントレターンを基盤に「夢を描き、チャレンジする力」と「現場での実践を通して、自ら考え行動する力」をつけていく機会を提供しています。今後も体験型プログラムの充実を図ります。

02



支える人育成 - キャリア教育コーディネーター育成 -

地域を支え、地域と共に創る人材育成に力を入れていきます。キャリア教育コーディネーター育成講座の更なる充実や、コーディネーター同士が研鑽しあう場づくりとして、勉強会や実践の場の提供を行います。

03



チームづくり

地域が一丸となり学校教育と企業が協働できるための仕組みを作ります。地域の特性・強み・課題・資源などを掘り下げていき、それぞれの地域に合わせた推進プランづくりや場の提供を行います。

ドリカムスクール®

対象
小中高生

ゆめを描き、自分の生き方をつくり続ける

子どもたちが様々な大人と出会うことで、自身の将来を見つめ、描く力を育み、何事にもチャレンジできる力を育てます。ミッションに取り組む中で、仲間と意見を交わし協力することを学ぶと共に、それぞれが違っているということを実感します。また子どもだけでなく、関わる大人（学校・企業）も成長できるプログラムです。



ドリカムスクール3つのねらい

1 将来展望
いろんな生き方がある！

社会人・職業人の話を聴き、将来展望を広げるきっかけづくりをしています。生き方のモデルを「職業選択」「職業理解」という観点だけでなく、親や先生以外の、多種多様な職業や価値観・生き方の大人と出会い、「人として」の生き方を見つめ共に将来展望を描きます。

2 チームワーク
自分も大切な一員だ

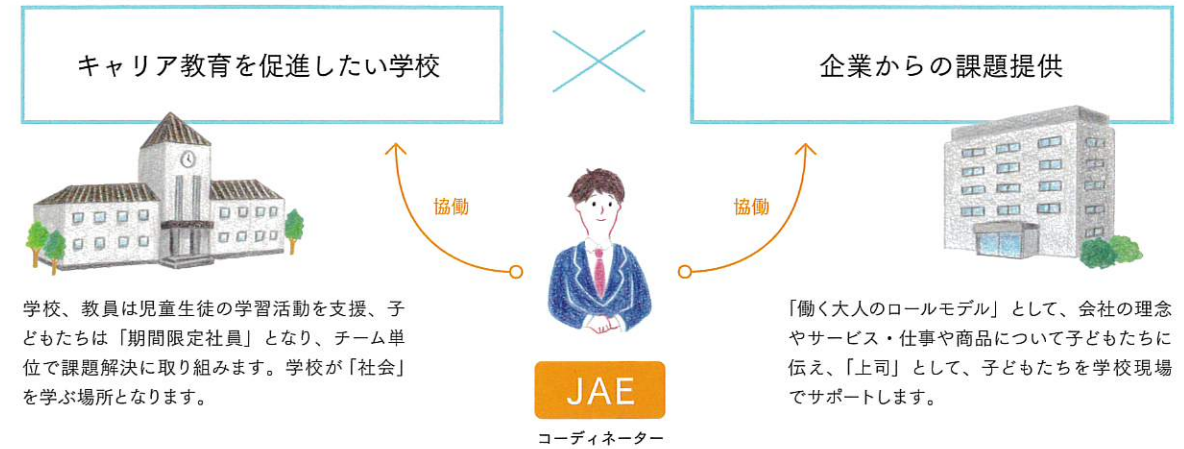
集団の中では、「助け合う」「協力し合う」「支え合う」ことの価値などを、喜びを通して経験できるときと苦しさを通して経験できることがあります。チームの仲間の意見を否定せず引き出し、「みんな違っていい」と感じ、力を合わせてつくり上げていきます。

3 チャレンジ！！
やってみよう

プログラムの中で子どもたちが主体的に学び「やってみよう」「もっと学びたい！」「おもしろい！」と、様々な角度から興味・関心、疑問を持ち、物事に踏みだすきっかけをつくります。また、その体験を経験にし知識が知恵になることをサポートします。

ドリカムスクールの事業スキーム

ドリカムスクールでは、「社会で活躍する大人との出会いや交流」「本物の仕事体験」を通じて、「夢や目標に向かって、自ら考えて行動し主体的にチャレンジする人材を輩出すること」を目的としています。参加児童・生徒だけでなく、講師や支援側として関わる協働者（大人）にとっても、社会や仕事、自分自身について見つめ直し意欲的に取り組む「きっかけ」になることをめざします。



program ドリカムスクールのプログラム実践例

step1

「知る」
ミッションの発表

ミッション達成のためのチームビルディングや、役割分担を行います。会社について知り、プログラムのミッションを発表します。次回の学習のための、事前調査や事前学習を行います。

step2

「考える・形にする」
グループで企画体験

グループ活動が中心になります。アイディアを出し合う練習や、グループで企画する仕事体験を行います。企画を形にする段階で、社員が相談相手となり、改善点の提案などのフィードバックをもらいます。

step3

「伝える」
プレゼンテーション・表彰式

グループごとにプレゼンテーションを行い、社員からの講評をもらいます。プログラム全体の振り返りを行い、将来や「夢」と今回の経験をつなげて考えドリカムプラン（夢を描く）を作成します。

社員のモチベーションアップ×認知度アップにつながります。

社員自身が、会社について語り、仕事ややりがいについて子どもたちに分かりやすい言葉で伝えることで、自社の役割や自分の仕事を見つめ直す機会となり、働くことへの意欲向上につながります。

参加社員の声

- 子どもたちの前向きな姿勢に刺激を受け、新しいことに挑戦する意欲が高まった。
- 自社の事業への想い、執着心が変わった。企業理念の理解にもつながり、仕事への想いが深まった。

教員の声

- 協力して「ないもの」を作り上げていく所に成長を感じた。ひとりひとりが独創的なアイディアを持って、真剣に考える姿に、普段見の様子とは違う面を見ることができたように思う。

子どもの声

- 一人でやるのもいいけど、協力する楽しさを知った。改めて将来について考えられた。
- グループで協力する大切さを知った。言い合いになることもあったけど、最後はグループがまとまり発表できた。

アントレターン

対象
大学生

若手人材を育てながら生まれる、社内の新しい風

大学生が「半年間の期間限定の正社員」として実社会の中で本気で仕事に挑戦する長期実践型インターンシップ「アントレターン」を通し、事業の加速化、会社の活性化につながります。学生が仕事を通し自ら考え、行動する中で「実践する力」を育て、「自らの人生・社会を切り拓いていける人」を増やしていきたい。そんな社会の実現のために、企業と共にプログラムを創っています。



アントレターンの特徴

1 学生・企業双方の価値を最大化

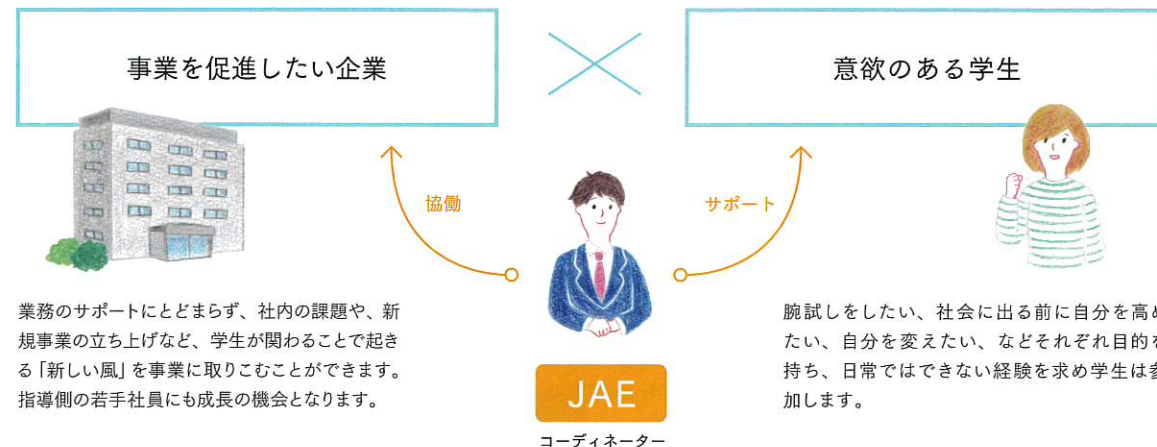
双方にとっての価値を高めるため、事前に審査をしたうえで企業を決定。企業は受入目的の明確化、社内体制づくり、プロジェクト設計を行います。プロジェクトは学生の関心やレベルを想定し、磨きあげていきます。

2 コーディネート機能を最大限発揮

インターン開始後は実施状況を常に共有し、モチベーションの維持、プロジェクトの軌道修正等、目標を実現するためのサポートを行っています。また、インターン生同士、受入企業同士がお互いに学び合う機会も用意しています。

アントレターンの事業スキーム

意欲のある学生が「期間限定の正社員」としてプロジェクトに携わる長期実践型インターンシップです。社員と学生が同じ目的を共有し、共に成長し、壁を乗り越えながらプロジェクトを形にしています。また、JAE が伴走することで、プロジェクトのブラッシュアップ、学生・企業間の協働とコミュニケーションを支援します。



program アントレターンのプログラム実践例

step1

企業の現状などをヒアリングし
プロジェクトを設計

担当コーディネーターが、企業へのヒアリングや現状把握を徹底的に行います。企業の目的を踏まえ、ノウハウや事例を活用し、企業と学生が半年間かけて共に成果を出せるプロジェクトを設計します。

step2

インターンシップ生として
学生が参画し事業を実践

面接でお互いが同意すれば、双方の目的・目標を確認するオリエンテーションを経て、週に2~3日のインターンシップを開始。その後はインターン生の日報を全員で共有し、状況を把握しサポートします。

step3

JAEのコーディネーターが
定期的にサポートします

学生と定期的に面談や研修を行い、継続的なモニタリングを実施、企業にフィードバックを行います。必要に応じて三者（企業・学生・コーディネーター）面談の機会を設け、プロジェクトの軌道修正を図っていきます。

事業加速 / 社内活性化 につながります。

長期に渡り、学生が深く事業にコミットすることで、プロジェクトの立ち上げや、事業の拡大などを低リスクで行うことが可能です。学生の本気の姿が、社内の活性化や社員の意欲向上にもつながります。

企業の声

- インターンシップには「失敗」というものはないのだと感じた。すべてが学びだと知った。
- インターン生を教えることで、受け入れ担当者自身も、改めて自社の強みを再確認できた。
- 大学生を受け入れることで、社内が活気づいた。また、インターン生が成長していく姿を見て、教えることの楽しさを実感した。

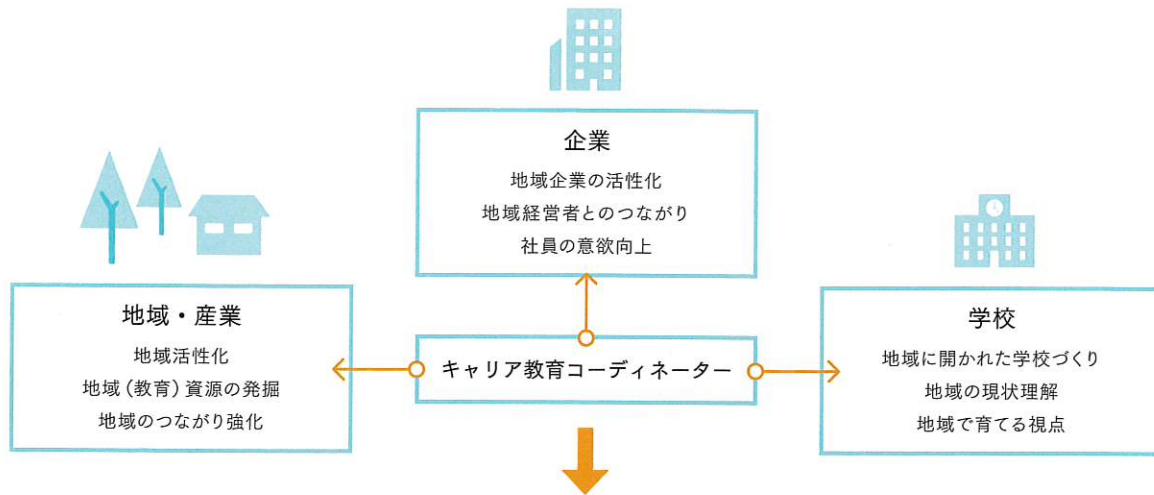
学生の声

- インターンを経験し、以前は面倒だとか難しそうと思って手を出さなかったことも、一度やってみようとポジティブな気持ちで、自分に実りのあるものにしようと思うようになった。
- インターンを終え、自分に自信が付き、これからめざす理想像も明確になった。また一人では何もできないことに気づき、周りの力を借りて目標達成することの大切さを知った。

支える人育成

子どもたちの未来のための、 キャリア教育コーディネーター育成

現代社会では、地域におけるつながりが薄れ、子どもたちが日常的に様々な大人や仕事や社会と出会う場面が少なくなっています。ロールモデルとなるような大人と出会い、生きた学びを得ることが今の子どもたちには必要だと考えます。キャリア教育を推進していくために、学校教育・教職員の支援をしながら、企業・地域などの大人を巻き込んでいく存在としての「キャリア教育コーディネーター」が必要とされています。



支える人(コーディネーター)育成の大事なポイント

地域 × 企業 × 学校のそれぞれの思いや考えを取り次ぎ・まとめ、それぞれに有益になる目的をキャリア教育の観点で創り上げて、実行に移すためには、コーディネーターの存在は欠かせません。

講座について

キャリア教育コーディネーターは(一社)キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会の認定資格です。JAEでは(特非)南大阪地域大学コンソーシアムと共催で「キャリア教育コーディネーター育成ガイドライン」(経済産業省 平成23年3月作成)に基づき「キャリア教育コーディネーター育成講座」を実施しています。本講座は「エントリーコース」と「実践コース」で構成されており、講座修了後に認定試験の受験資格が得られます。

エントリーコース

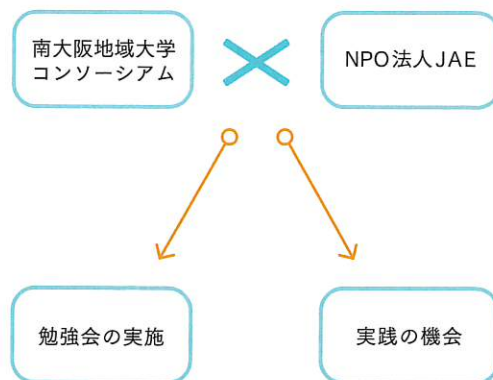
30時間の講義型・参加型研修で基礎・基本からはじまり、キャリア教育の必要性や学校の現状理解、またキャリア教育プログラムの作成手法などとキャリア教育コーディネーター活動に必要な知識・技能の習得をめざします。(講義例:「キャリア教育とは」「わが国で求められている人物像とは」)

実践コース

エントリーコースを修了し、キャリア教育コーディネーターとして活動を行いたい方が対象の講座です。研修は、学校現場での実習を中心にプログラム化されており、実践的なスキルの習得及び意識の向上をめざしています。なお、エントリーコース修了後、一定の基準をクリアした方のみ受講することができます。

ステップアップの機会

講座を受講した仲間同士で、研鑽しあう機会を作っていきます。講座を通して、同じ思いの仲間と出逢うことができたことをきっかけに、準備されたキャリア教育を現場で展開するだけでなく、それぞれの受講者の「キャリア × 夢 × 仕事」を形にしていく「場」を用意しています。



チームづくり

地域で育まれる教育 大人と子どもが共にチャレンジする環境

一企業と一学校でプログラムを実施するだけでなく、学校間の連携、企業同士の連携の中で様々なチャレンジが生まれています。兵庫県尼崎市と大阪府泉南市では、地域に様々な課題があり、その解決のため地域内での関係性づくりを行ってきました。その結果、課題意識のある学校現場や地元企業と共にチームとして取り組む体制ができつつあります。

ドリカムスクール

子どもたちが地元企業の課題解決に挑戦!

山陽製紙株式会社

保幼小中連携



「ポリラミを進化させよう!」

子どもたちは山陽製紙(株)の期間限定の社員となり、チームで協力しながらミッションに挑戦。地元企業の社員と共に挑戦し、伝える力やチームワーク力向上に加え、社員それぞれの生き方に触れることで自らの将来や生き方を見つめ一歩踏み出すきっかけをつくりました。山陽製紙(株)は社員研修としてドリカムスクールを取り入れ、「伝える力」「チームワーク力」をつけながらそれぞれの生き方を見つめ直すことで、社員としての誇りを醸成しました。今回のミッションの「ポリラミ」という紙はリサイクルできない特殊な紙。できれば捨てずに何かに使えないかという企業の悩みに子どもたちが挑戦!会社として大切にしている「創意工夫」「ものを大切につかう」精神をもとに子どもたちが商品開発し、会社に提案しました。

HP: <http://www.sanyo-paper.co.jp/>

アントレターン

学生と地元企業が地域の課題に挑戦!

株式会社栄水化学

大学生



「エコピカはかせのおそうじ塾」

おそうじ節約60年。地域密着型で、ビル・病院・銀行などの清掃サービスを提供している株式会社栄水化学。これまで培ったノウハウを活用し「おそうじ教育」で地域貢献をしたいと「エコピカはかせのおそうじ塾」を実施していました。より事業化を推進しようと考えましたが、なかなか人手を割けない。そこで長期実践型インターンシップを導入。インターン生は、小学生を対象にした「エコピカはかせのおそうじ塾」のカリキュラム作成やイベント実施、ニーズ調査を行いました。結果として、より地域との関係性が生まれニーズを把握でき、自社の強みを認識できたことで、今後は「尼っこ次世代育成塾」として地域のこども向け事業として推進していく予定です。

HP: <http://www.eisui.co.jp/>

「泉南市ドリカムスクール」と、「尼崎市長期実践型インターンシップ」での事例は、それぞれの地域をより良くしていこうと考える学校や地元企業が連携することで、新たなチャレンジとして生まれました。JAEは、そのチームの一員として、地域の中で「つながり、チャレンジし、学び合う場」を共に創っていきたくて考えています。

JAE 15 年のあゆみ

今も未来も「チャレンジ」を応援する存在でありたい

- 2001 JAE設立。(当初の名称はJae) 創業者・山中昌幸が小中学校向けの起業家教育教室「チャレンジスクール」を、東大阪でスタート。
- 2002 新大阪に事務所を移転。キッズマート(子どもの商売体験イベント)を開始。2005年までの4年間で10回以上実施。
- 2003 ソーシャルアントレプレナーシップ養成講座を実施。2005年までにその他大学生向けイベントを含めて9回を実施。大阪企業家列伝、デジタルキッズマート開発。
- 2004 アントレターンが「チャレンジコミュニティ創成プロジェクト」(経済産業省委託事業)のモデル事業(全国で5団体)に認定される(2006年度まで)。
- 2005 ドリカムスクールが「地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト」(経済産業省委託事業)のモデル事業(全国で27団体)に認定される。上記プロジェクトとしてドリカムスクール初の公立学校(木川小学校)で実施。
- 2006 花園大学、神戸学院大学での授業がスタート。
- 2007 尼崎市委託事業「プレジョブスクール」実施。(2009年まで継続実施)
- 2008 社員育成型のドリカムスクールをスタート。(初年度は2社が参画)
- 2009 関西志経営フォーラムを開催。キャリア教育コーディネーター育成講座を開校。
- 2010 梅田に事務所を移転。京都オフィスオープン。大阪府「文系大学生長期インターンシップ事業」を受託。
- 2011 大阪府教育委員会「キャリア教育プログラム実践事業」を受託。大阪府泉南市・東大阪市等の市町村、11中学校区でキャリア教育推進をサポート。
- 2012 「キャリア教育優良団体」として文部科学大臣表彰を受賞。
- 2013 坂野充が代表理事に就任。
- 2014 東大阪市教育委員会と連携し、産官学民で地域の人材育成を推進する「東大阪ええとこスクラム協議会」を設立。
- 2015 「東大阪ええとこスクラム協議会」が、文部科学省・経済産業省共同、キャリア教育連携推進表彰、奨励賞を受賞。兵庫県尼崎市で「長期実践型インターンシップ事業」を開始。
- 2016 設立15周年を迎える。



キッズマート(商売体験)の様子。子どもたちはチームを組んで、商品が売れるように、一生懸命アイデアを練ります。



「関西志経営フォーラム 2009」を開催。100社を超える経営層が大阪倶楽部に集まった。



キャリア教育推進連携表彰奨励賞

メディア掲載

- 2014年12月24日 毎日新聞 まなびやの宝：東大阪市立高井田東小学校
 - 2015年8月10日 大阪日日新聞 わが町で高校生育む
 - 2015年8月29日 東住吉 Town 東住吉ゆめ応援プロジェクト
 - 2015年9月12日 大阪日日新聞 地域若者チャレンジ大会関西予選 最優秀賞
 - 2015年10月26日 産経新聞 仕事の楽しさ・厳しさ 東大阪のよさ知って
 - 2016年2月2日 読売新聞 フォーカス阪神 尼崎市の長期就業体験
 - 2016年5月16日 毎日新聞 大阪の市民パワー
 - 2016年10月5日 大阪日日新聞 地域若者チャレンジ大賞関西大会
 - 2016年10月7日 大阪日日新聞 留学生向けに職業体験
- その他新聞を中心に多数

表彰実績

- 2011年度 ドリカムスクール(株式会社西島製作所協働) 経済産業省「キャリア教育アワード」経済産業大臣賞受賞
- 2012年度 文部科学省「キャリア教育優良団体」文部科学大臣表彰
- 2014年度 地域若者チャレンジ大賞 2014 審査員特別賞受賞
- 2015年度 文部科学省「キャリア教育連携推進表彰」奨励賞 受賞 東大阪ええとこスクラム協議会
- 2016年度 地域若者チャレンジ大賞 2016 審査員特別賞受賞



地域若者チャレンジ大賞 2014

応援者からのメッセージ

私たちの活動に共感いただき、さまざまな立場で応援していただいている方から寄せられたメッセージをご紹介します。



JAEには、地域のリーダーとして活躍されることを期待しています。

田坂 広志

これからの時代に求められるのは、地域において「ボランティア経済」を活性化することであり、地域に「目に見える資本(貨幣)」だけではなく「目に見えない資本(知識・信頼・文化)」を生みだしていくことです。その視点から、JAEには地域のリーダーとして活躍されることを期待します。



熱い志と、活動の広がり、社会の信頼の高まりにはいつも勇気や刺激をいただいています。

NPO 法人 ETIC、代表理事
宮城 治男

JAEの皆様の熱い志と、活動の広がり、社会の信頼の高まりにはいつも勇気や刺激をいただいています。益々のご活躍、そしてさらにご一緒できるご縁が広がりますこと、心より願っています。



当社の社員も自己を成長させる機会になっています。



大和ハウス工業株式会社
CSR部 社会責任グループ

松本 瑠美子

ドリカムスクールは、子どもたちの学びの場であると同時に、参加する当社の社員も自己成長の機会になっています。子どもたちの主体性・チームワーク・チャレンジ精神を育むこの活動を今後とも、共に取り組んでまいります。



企業様との連携は、JAEの協力なくしては成り立ちません。



大坂市立大坂ビジネスフロンティア高等学校校長

澤井 宏幸

本校はキャリア教育を柱としており、生徒自身で将来を考え、学ぶ意味を見出すことで学びに向かうモチベーションが高まっています。特に、企業様との連携は、JAEの協力なくしては成り立ちません。

連携先について

分野を越えた主体が連携し、 能動的に参加しあう場づくり

子どもたちや学生を中心に、地域・行政・教育機関・企業（社員）・学校（教員）・保護者などが、それぞれの立場から子どもたちの成長や、学生の挑戦を能動的にサポートすることで、結果的に自身の成長や気づきを得ることにつながります。能動的な相互作用の場づくりをキャリア教育を通して実践しています。

パートナーシップ

連携の土台となるパートナーシップの構築を進めるために、地域のあるべき姿や未来を共有する、相互の活動を体感する、課題を共有しアクションにつなげる、など様々な対話の場づくりをします。

コラボレーション

次世代育成のためのプログラムを共につくるプロセスを通して、連携は加速します。パートナーシップを土台にしなが、各主体のねらいを踏まえてプログラムの企画・運営を進めていきます。



地域内でのコーディネーターの配置やプログラムを持続的に運用するための仕組みづくり。



学校内での体制づくりやカリキュラムマネジメントのサポート、学校間や地域との連携を構築。



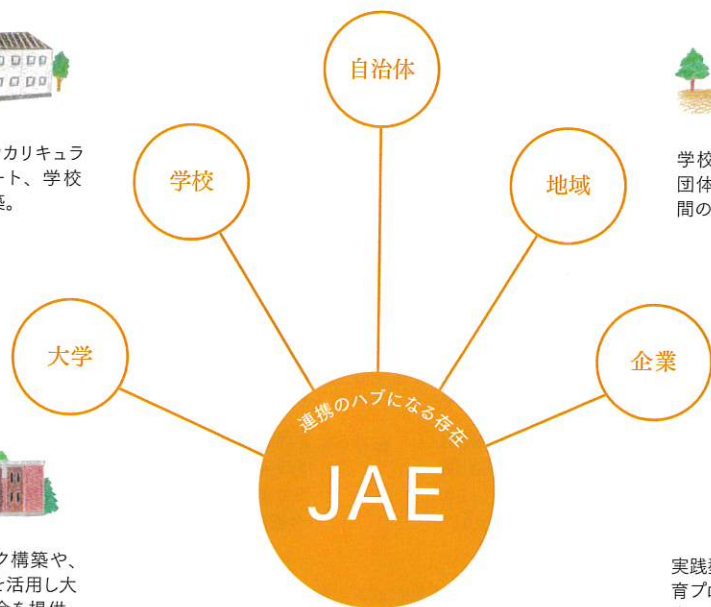
学校との接点づくりや地元の教育団体へのプログラム提供、関係者間の意見交換の場づくり。



地元企業とのネットワーク構築や、実践型インターンシップを活用し大学生がチャレンジする機会を提供。



実践型インターンシップやキャリア教育プログラムの構築を通して、企業内の事業推進、人材育成をサポート。



! point

連携の基本は、持続可能な仕組みづくり。それぞれの主体の持っているねらいを実現でき、関わる価値を感じられる機会にするため、粘り強く対話を続けていきます。



団体概要

団体名 NPO 法人 JAE ※JAE=Japan Academy of Entrepreneurship

設立 2001年3月3日(2001年6月22日法人化)

代表者 代表理事 坂野 充

理事 山中 昌幸(ファウンダー・会長)
赤澤 清孝

監事 太田 晶久(公認会計士・税理士)

スタッフ 職員：8名 ボランティアスタッフ：10名

連絡先 Tel.06-6131-3573 Fax.06-6131-3487

HP <http://www.jae.or.jp>

ロゴマークについて



昔航海士が北極星を目印に目標地点をめざして公開していたエピソードをもとに、「夢(目標・志)・希望」を表す「北極星」と、「支え合い」を表す「人」、JAEの「A」を組み合わせて、人が「北極星(夢・志・希望)」を描き、それを基準に目標設定し進んでいけるようにサポートする JAE を表現しました。

大阪オフィス

〒530-0028

大阪府大阪市北区万歳町 4-12 浪速ビルディング

西館 401A 号室 (地下鉄谷町線「中崎町」3 番出口すぐ)



NPO 法人 JAE
<https://www.facebook.com/jae.or.jp/>

JAE ドリカムスクール
<https://www.facebook.com/dreamsjae/>